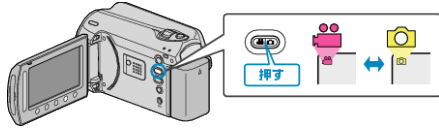


動きを感知し自動的に撮影する(フレームイン REC)

液晶画面に表示される赤枠内の被写体の動き(明るさ)の変化を感知して、自動的に動画または静止画の撮影をします。(フレームイン REC)
フレームイン REC は、動画でも、静止画でも設定できます。

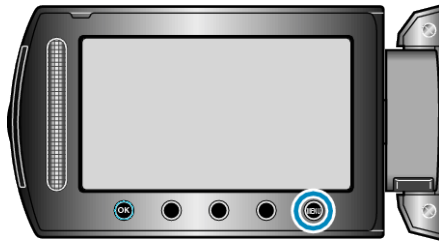
1 動画または静止画を選ぶ



2 撮影する被写体に合わせて、構図を決める

- ズームなどを使って画角を合わせてください。

3 \odot をタッチして、メニューを表示する



4 "フレームインREC"を選び、 \odot をタッチする



5 "入"を選び、 \odot をタッチする



6 赤枠内の被写体が動いたら、自動的に撮影が開始される



- メニュー表示が消えてから、約 2 秒後に赤い枠を表示します。
- 動画撮影の場合、赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)がなくなるまで撮影を続けます。赤枠内の被写体の動き(明るさの変化)がなくなると 5 秒後に撮影を停止します。
- 手で動画撮影を停止したい場合は、START/STOP ボタンを押してください。ただし、動画撮影を停止後もフレームイン REC 設定「入」の状態は継続するため、赤枠内の被写体に動き(明るさの変化)を感知したら、再度撮影を開始します。フレームイン REC を解除するには、フレームイン REC 設定を「切」にしてください。

ご注意:

- マニュアル撮影は「テレマクロ」のみ設定できます。その他のマニュアル撮影の設定はすべて「オート」になります。
- フレームイン REC 設定後は、デジタルズーム、手ぶれ補正、セルフタイマー、および連写は使えません。
- タイムラプス撮影との併用はできません。設定した場合は、タイムラプス撮影を優先します。
- フレームイン REC 設定後は、「動画画質」および「ワイド撮影切替」の変更ができません。フレームイン REC 設定を「入」にする前に設定してください。
- フレームイン REC 設定後は、オートパワーオフおよびパワーセーブは効きません。

メモ:

- 動画撮影の場合、変化がなくなると 5 秒後に撮影を停止します。
- 赤枠内の被写体の動きが早いなど明るさの変化が小さい場合は、撮影を開始できない場合があります。
- 赤枠内に動きが無くても、明るさの変化によっては撮影を開始してしまうことがあります。
- ズーム動作中は撮影を開始できません。